



デバイス プロファイルの設定

デバイス プロファイルを設定するには、次のトピックを参照してください。

- 「[デバイス プロファイルの設定値](#)」 (P.72-1)
- 「[関連項目](#)」 (P.72-10)

デバイス プロファイルの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイスプロファイル (Device Profile)] メニュー パスを使用して、デバイス プロファイルを設定します。

デバイス プロファイルは、特定のデバイスに関連付けられている一連の属性（サービスや機能）から構成されます。ユーザ デバイス プロファイルには、名前、説明、電話テンプレート、ユーザ ロケール、拡張モジュール、ソフトキー テンプレート、機能設定、MLPP 情報、電話番号、登録済みのサービス、およびスピードダイヤル情報が含まれています。ユーザにユーザ デバイス プロファイルを割り当てると、ユーザがデバイスにログインしたときに、そのユーザに割り当てたユーザ デバイス プロファイルが、デフォルト ログイン デバイス プロファイルとしてそのデバイスにロードされます。ユーザ デバイス プロファイルが電話機にロードされると、電話機はそのデバイス プロファイルの属性を使用します。

ユーザ デバイス プロファイルは、特定のデバイスのデフォルト ログアウト デバイス プロファイルとして割り当てることができます。たとえば、ユーザが電話機からログアウトすると、ログアウト デバイス プロファイルが電話機にロードされ、ログアウト デバイス プロファイルの属性がその電話機に指定されます。[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] ウィンドウで、ユーザ デバイス プロファイルの作成、変更、削除を実行できます。ユーザ デバイス プロファイルがログアウト デバイス プロファイルとして使用されている場合は、ユーザ デバイス プロファイルを削除できません。

Cisco Unified Communications Manager は、デバイス プロファイル デフォルトもサポートしています。ユーザ デバイス プロファイルが存在しない電話機のモデルにユーザがログインするときはいつでも、デバイス プロファイル デフォルトを使用します。Cisco エクステンション モビリティをサポートする各電話機のモデルのデフォルト デバイス プロファイルを作成するには、[デフォルトのデバイス プロファイル設定 (Default Device Profile Configuration)] ウィンドウを使用します。デバイス プロファイル デフォルトの最大数は、Cisco エクステンション モビリティをサポートする電話機のモデルの数を超えることはできません。デバイス プロファイル デフォルトの詳細については、「[デフォルト デバイス プロファイルの設定](#)」 (P.71-1) を参照してください。

デバイス プロファイルの設定のヒント

電話ボタン テンプレートが設定済みであることを確認してからデバイス プロファイルを設定してください。詳細については、「[電話ボタン テンプレートの設定値](#)」 (P.73-1) を参照してください。

[割り当て情報 (Association Info)] ペインから、デバイス プロファイルの電話番号、スピードダイヤル、およびインターコム電話番号を設定できます。ここで説明する設定については、「[電話番号の設定 \(P.43-1\)](#)」、「[Cisco Unified IP Phone の設定 \(P.67-1\)](#)」、および『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「[インターコム電話番号の設定](#)」の項を参照してください。

[ボタン項目を変更 (Modify Button Items)] をクリックすると、[電話のボタンの並び替え設定 (Reorder Phone Button Configuration)] ウィンドウが表示されます。電話ボタン テンプレートのボタン項目を管理する場合は、このウィンドウを使用します。このウィンドウの適切な設定については、「[電話ボタン テンプレートのボタン項目の変更 \(P.67-43\)](#)」を参照してください。



(注) ユーザ デバイス プロファイルに加えた変更を有効にするには、デバイスにログインする必要があります。

追加設定

[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウの右上の [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストのリンクを使用すると、作成したデバイス プロファイルに関連する追加設定を実行できます。追加の項目を設定するには、次のリンクを参照してください。

- [新規ラインアピアランスの追加 (Add a New Line Appearance)] : デバイス プロファイルに新規ラインアピアランスを追加するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付けられた新規 DN を設定できます。このウィンドウのフィールドの詳細については、「[電話番号の設定値 \(P.43-1\)](#)」を参照してください。
- [スピードダイヤルの追加/更新 (Add/Update Speed Dials)] : デバイス プロファイルに関連付けられたスピードダイヤル設定を追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定 (Speed Dial and Abbreviated Dial Configuration)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付けられるスピードダイヤルを設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、「[スピードダイヤル ボタンまたは短縮ダイヤルの設定 \(P.67-38\)](#)」を参照してください。
- [ビジョーランプフィールドスピードダイヤルの追加/更新 (Add/Update Busy Lamp Field Speed Dials)] : デバイス プロファイルに関連付けられたビジョーランプフィールドスピードダイヤル設定を追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[ビジョーランプフィールドスピードダイヤルの設定 (Busy Lamp Field Speed Dial Configuration)] ウィンドウが開き、このデバイス プロファイルに関連付けられるビジョーランプフィールドスピードダイヤルを設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「[BLF/スピードダイヤル ボタンの設定](#)」を参照してください。
- [ビジョーランプフィールドダイレクトコールパークの追加/更新 (Add/Update Busy Lamp Field Directed Call Park)] : デバイス プロファイルに関連付けられたビジョーランプフィールドダイレクトコールパーク設定を追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[ビジョーランプフィールドダイレクトコールパークの設定 (Busy Lamp Field Directed Call Park Configuration)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付けられるビジョーランプフィールド/ダイレクトコールパークの設定を設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「[BLF/ダイレクトコールパークの設定項目](#)」を参照してください。
- [サービス URL ボタンの追加または更新 (Add/Update Service URL Buttons)] : デバイス プロファイルに関連付けられたサービス URL ボタンを追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[サービス URL ボタンの設定 (Configure Service URL Buttons for)] ウィンドウが開き、このデバイス プロファイルに関連付けられたサービス URL ボタンを設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、「[サービス URL ボタンの設定 \(P.67-41\)](#)」を参照してください。

- [サービスの登録/登録解除 (Subscribe/Unsubscribe Services)] : デバイス プロファイルに関連付けられた IP Phone サービスを登録または登録解除するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[登録済みの Cisco IP Phone サービス (Subscribed Cisco IP Phone Services)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付ける Cisco IP Phone サービスを登録または登録解除できます。このウィンドウの設定の詳細については、「[IP Phone サービスの設定](#) (P.67-39) を参照してください。

デバイス プロファイルの削除のヒント

デバイス プロファイルがデバイスに割り当てられている場合、そのデバイス プロファイルは削除できません。デバイス プロファイルを使用しているデバイスを検索するには、[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] リンクを選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#) (P.A-2) を参照してください。使用中のデバイス プロファイルを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager ではメッセージが表示されます。現在使用されているデバイス プロファイルを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するデバイス プロファイルを使用しているデバイスすべてに、別のデバイス プロファイルを割り当てます。
- 削除するデバイス プロファイルを使用しているデバイスを削除します。



(注)

ユーザ デバイス プロファイルが、デフォルトのログアウト デバイス プロファイルとして設定されている場合は、そのデバイス プロファイルを削除できません。ログアウト デバイス プロファイルを削除する場合は、そのデバイス プロファイルに対するログアウト デバイス プロファイルの指定を変更し、別のデバイス プロファイルをその電話機のログアウト デバイス プロファイルとして設定する必要があります。ユーザ デバイス プロファイルがログアウト デバイス プロファイルではなくなった後、削除できます。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザ インターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#) (P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

表 72-1 では、[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウ内で使用可能な設定値について説明します。関連する手順の詳細については、「[関連項目](#) (P.72-10) を参照してください。

表 72-1 デバイス プロファイルの設定値

フィールド	説明
[ユーザデバイスプロファイル情報 (User Device Profile Information)]	
[製品のタイプ (Product Type)]	このフィールドには、このデバイス プロファイルを適用する製品のタイプが表示されます。
[デバイスプロトコル (Device Protocol)]	このフィールドには、このデバイス プロファイルを適用するデバイス プロトコルが表示されます。

表 72-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[デバイスプロフィール名 (Device Profile Name)]	固有の名前を入力します。この名前には、最長 50 文字まで指定できます。
[説明 (Description)]	デバイス プロファイルの説明を入力します。この特定のユーザ デバイス プロファイルを説明する内容を入力してください。
[ユーザ保留 MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)]	<p>ユーザが保留操作を開始するときに再生されるオーディオ ソースを指定するには、[ユーザ保留 MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)] ドロップダウン リスト ボックスからオーディオ ソースを選択します。</p> <p>オーディオ ソースを選択しない場合、Cisco Unified Communications Manager は、デバイス プールに定義されているオーディオ ソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオ ソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>(注) オーディオ ソースの定義は、[保留音オーディオソースの設定 (Music On Hold Audio Source Configuration)] ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、[メディアリソース (Media Resources)] > [保留音オーディオソース (Music On Hold Audio Source)] の順に選択してください。</p>
[ユーザロケール (User Locale)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、その電話機ユーザ インターフェイスに関連したロケールを選択します。そのユーザ ロケールは、言語とフォントを含んだ、ユーザをサポートする一連の詳細情報を識別します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、ローカリゼーションをサポートする電話機モデルに対してだけ、このフィールドを使用可能にします。</p> <p>(注) ユーザ ロケールが指定されない場合、Cisco Unified Communications Manager はデバイス プールに関連付けられているユーザ ロケールを使用します。</p> <p>(注) 英語以外の言語で情報を (電話機に) 表示することをユーザが要求している場合は、ユーザ ロケールを設定する前に、ロケール インストーラがインストールされていることを確認します。Cisco Unified Communications Manager の Locale Installer のマニュアルを参照してください。</p>
[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]	<p>[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウン リストから、電話ボタン テンプレートを選択します。</p> <p>ヒント プレゼンス モニタリングのためにプロフィールに BLF/スピードダイヤルを設定する場合は、BLF/スピードダイヤル用に設定した電話ボタン テンプレートを選択します。設定の保存後、[割り当て情報 (Association Info)] ペインに [新規 BLF SD を追加 (Add a New BLF SD)] リンクが表示されます。BLF/スピードダイヤルの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」を参照してください。</p>
[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]	[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウン リスト ボックスから、表示するソフトキー テンプレートを選択します。

表 72-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[プライバシー (Privacy)]	<p>プライバシーを必要とする各電話機について、[プライバシー (Privacy)] ドロップダウンリスト ボックスから [オン (On)] を選択します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。</p>
[ワンボタン割り込み (Single Button Barge)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オフ (Off)] : このデバイスで、ユーザはワンボタン割り込み/C 割り込み機能を使用できなくなります。 • [割り込み (Barge)] : このオプションを選択すると、ユーザは電話機のワンボタン割り込みシェアドライン ボタンを押し、割り込みを使用してコールに割り込むことができます。 • [デフォルト (Default)] : このデバイスは、サービス パラメータおよびデバイス プールの設定からワンボタン割り込み/C 割り込みの設定を取得します。 <p> (注) サービス パラメータとデバイス プールの設定が異なる場合、デバイスはサービス パラメータの設定から取得します。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。</p>
[回線をまたいで参加 (Join Across Lines)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オフ (Off)] : このデバイスで、ユーザは回線をまたいで参加機能を使用できなくなります。 • [オン (On)] : このデバイスで、ユーザは複数の回線をまたいでコールに参加できるようになります。 • [デフォルト (Default)] : このデバイスは、サービス パラメータおよびデバイス プールの設定から、回線をまたいで参加の設定を取得します。 <p> (注) サービス パラメータとデバイス プールの設定が異なる場合、デバイスはサービス パラメータの設定から取得します。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「電話番号の概要」を参照してください。</p>

表 72-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オフ (Off)] : 電話機がアイドル状態になっているときにいずれかの回線でコールを受信すると、電話機のユーザは、コールを受信した回線からコールに応答します。 [オン (On)] : 電話機がアイドル状態 (オフ フック) になっているときにいずれかの回線でコールを受信すると、このコールにはプライマリ回線が選択されます。他の回線のコールの呼び出し音は鳴り続けます。電話機のユーザは、他の回線を選択してこれらのコールに応答する必要があります。 [デフォルト (Default)] : Cisco Unified Communications Manager は、Cisco CallManager サービスをサポートする Always Use Prime Line サービス パラメータの設定を使用します。
[ボイスメッセージには常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line for Voice Message)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オン (On)] : 電話機がアイドル状態の場合に電話機のメッセージ ボタンを押すと、電話機のプライマリ回線がボイス メッセージを受信するアクティブな回線になります。 [オフ (Off)] : 電話機がアイドル状態の場合、電話機のメッセージ ボタンを押すと、ボイス メッセージが設定されている回線からボイス メッセージ システムに自動的にダイヤルされます。Cisco Unified Communications Manager は、ボイス メッセージが設定されている最初の回線を常に選択します。ボイス メッセージが設定されている回線が存在しない場合に電話機のユーザがメッセージ ボタンを押すと、プライマリ回線が使用されます。 [デフォルト (Default)] : Cisco Unified Communications Manager は、Cisco CallManager サービスをサポートする Always Use Prime Line for Voice Message サービス パラメータの設定を使用します。
[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)]	<p>コール表示制限を設定して、内部コールが受信するすべての表示制限を無視するには、[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)] チェックボックスをオンにします。</p> <p>ヒント この設定は、トランスレーション パターンレベルで発呼者回線 ID の表示と接続先回線 ID の表示の設定を組み合わせで使用してください。同時に、これらの設定値では、コール表示制限を設定して、各コールに対して発呼者回線または接続先回線の表示情報を選択的に表示、またはブロックできます。コール表示制限の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章を参照してください。</p>
[サイレント (Do Not Disturb)]	Do Not Disturb (DND; サイレント) を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

表 72-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[DND オプション (DND Option)]	<p>電話機で DND を有効にした場合、このパラメータでは、DND 機能が着信コールをどのように処理するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [コール拒否 (Call Reject)] : このオプションは、着信コール情報をユーザに提示しないようにします。[DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] パラメータをどのように設定したかに応じて、電話機はビープ音を再生したり、コールのフラッシュ通知を表示したりします。 [呼出音オフ (Ringer Off)] : このオプションは、呼出音をオフにしますが、着信コール情報はデバイスに表示するので、ユーザはコールを受け付けることができます。 [共通の電話プロファイル設定を使用 (Use Common Phone Profile Setting)] : このオプションは、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウの [DND オプション (DND Option)] の設定値をデバイスに使用するように指定します。 <p>(注) SCCP を実行している 7940/7960 電話機の場合、選択できるのは [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションだけです。モバイル デバイスとデュアル モード電話機の場合、選択できるのは [コール拒否 (Call Reject)] オプションだけです。モバイル デバイスまたはデュアル モード電話機に対して DND の [コール拒否 (Call Reject)] を有効にすると、コール情報はデバイスに表示されなくなります。</p>
[DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)]	<p>DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションまたは [コール拒否 (Call Reject)] オプションを有効にした場合、このパラメータは電話機でコールを表示する方法を指定します。</p> <p>ドロップダウン リストから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [なし (None)] : このオプションは、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウの [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] 設定値をデバイスに使用するように指定します。 [無効 (Disable)] : このオプションは、コールを通知するビープ音とフラッシュの両方を無効にしますが、DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションの場合、着信コール情報が表示されます。DND の [コール拒否 (Call Reject)] オプションの場合、コールアラートは表示されず、情報はデバイスに送信されません。 [ビープ音のみ (Beep Only)] : このオプションを選択した場合、着信コールがあると、電話機のビープ音だけが再生されます。 [フラッシュのみ (Flash Only)] : このオプションを選択した場合、着信コールがあると、電話機のフラッシュ アラートだけが表示されます。

表 72-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[クラスタ間エクステンションモビリティの CSS(Extension Mobility Cross Cluster CSS)]	<p>このドロップダウンリスト ボックスから、このデバイス プロファイルで クラスタ間のエクステンション モビリティ機能に使用する既存の Calling Search Space (CSS; コーリング サーチ スペース) を選択します (新しい CSS を設定したり、既存の CSS を変更したりするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [コールルーティング(Call Routing)] > [コントロールのクラス(Class of Control)] > [コーリングサーチ スペース(Calling Search Space)] を選択します)。</p> <p>デフォルト値は、[なし(None)] です。</p> <p>組織内管理者がこの CSS を指定します。ユーザがこのリモート電話機にログインすると、指定された CSS がデバイス CSS として電話機に割り当てられます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ」の章の「EMCC コールルーティング」を参照してください。</p>
[拡張モジュール情報(Expansion Module Information)]	
[モジュール 1(Module 1)]	<p>拡張モジュール フィールドの拡張モジュール ドロップダウン リストから電話テンプレートを選択して、このデバイス プロファイル用の 1 つまたは 2 つの拡張モジュールを設定できます。</p> <p>適切な拡張モジュールを選択するか、または [なし(None)] を選択します。</p>
[モジュール 2(Module 2)]	<p>適切な拡張モジュールを選択するか、または [なし(None)] を選択します。</p>
[MLPP 情報(Multilevel Precedence and Preemption Information)]	
[MLPP ドメイン (MLPP Domain)]	<p>このユーザ デバイス プロファイルを MLPP 優先コールに使用する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから MLPP ドメインを選択します。</p> <p>(注) MLPP ドメインは、[MLPP ドメインの設定(MLPP Domain Configuration)] ウィンドウで定義します。このウィンドウを開くには、[システム(System)] > [MLPP ドメイン(MLPP Domain)] の順に選択します。</p>

表 72-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[MLPP 表示 (MLPP Indication)]	<p>このユーザ デバイス プロファイル を MLPP 優先コール に使用する 場合、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] の設定値 をデバイス プロファイル に割り当てます。優先 トーン を再生 できる デバイス が MLPP 優先コール の発信時 にその再生機能 を使用する かどうか を指定 します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックス から設定 を選択 して、この デバイス プロファイル に割り当て ます。オプション は次の とおり です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : この デバイス プロファイル は、関連 する デバイス のデバイス プール から [MLPP 表示 (MLPP Indication)] の設定値 を引き継ぎ ます。 • [オフ (Off)] : この デバイス は、MLPP 優先コール の表示 の制御 も処理 もしませ ン。 • [オン (On)] : この デバイス プロファイル は、MLPP 優先コール の表示 を制御 し処理 します。 <p>(注) [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [オフ (Off)] または [デフォルト (Default)] (デフォルト が [オフ (Off)] の場合) に設定 し、かつ [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [強制 (Forceful)] に設定 する という 組み合わせ で、デバイス プロファイル を設定 する ことは できませ ン。</p>
[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)]	<p>このユーザ デバイス プロファイル を MLPP 優先コール に使用する 場合、[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] 設定 をデバイス プロファイル に割り当て ます。進行中 のコール を優先 できる デバイス が MLPP 優先コール の発信時 にその優先機能 を使用する かどうか を指定 します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックス から設定 を選択 して、この デバイス プロファイル に割り当て ます。オプション は次の とおり です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : この デバイス プロファイル は、関連 する デバイス のデバイス プール から [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] の設定値 を引き継ぎ ます。 • [無効 (Disabled)] : この デバイス は、優先順位 の高いコール の完了 に必要 な場合、優先順位 の低いコール を優先 する ように しまし せん。 • [強制 (Forceful)] : この デバイス は、優先順位 の高いコール の完了 に必要 な場合、優先順位 の低いコール を優先 する ように しまし ます。 <p>(注) [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [オフ (Off)] または [デフォルト (Default)] (デフォルト が [オフ (Off)] の場合) に設定 し、かつ [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [強制 (Forceful)] に設定 する という 組み合わせ で、デバイス プロファイル を設定 する ことは できませ ン。</p>
[ログアウト (デフォルト) プロファイル情報 (Logged Out (Default) Profile Information)]	
[ログイン ユーザ ID (Login User Id)]	<p>[ログイン ユーザ ID (Login User Id)] ドロップダウン リスト ボックス から、有効 なログイン ユーザ ID を選択 します。</p> <p>(注) ログアウト プロファイル として デバイス プロファイル が使用 される 場合、その 電話機 に関連 付け られる ログイン ユーザ ID を指定 しま します。ユーザ がこの ユーザ デバイス プロファイル からログアウト した 後では、その 電話機 はこの ログイン ユーザ ID に自動 的にログイン され ます。</p>

追加情報

「[関連項目](#)」(P.72-10) を参照してください。

関連項目

- 「[デバイス プロファイルの設定値](#)」(P.72-1)

電話番号、回線をまたいで参加、ワンボタン割り込み、プレゼンス、ダイレクト コール パーク、電話の設定、Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ

- 「[電話番号の設定値](#)」(P.43-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「[電話番号の概要](#)」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[割り込みとプライバシー](#)」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[プレゼンス](#)」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[コール パークとダイレクト コール パーク](#)」
- 「[Cisco Unified IP Phone の設定](#)」(P.67-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ](#)」